



## 「〇〇の秋」どんな秋を楽しみますか？

南帷子小学校長 竹内 久美子

朝夕涼しくなり、過ごしやすい秋がやってきました。秋晴れの日  
は、わんぱく山の緑と澄んだ青空、白い雲がとても美しいです。ど  
んどん姿を変えていく雲を眺めながら、子どもたちとブランコに乗っ  
ていると、この青空に向かって飛んでいけそうな気持ちになります。



秋といえば、「〇〇の秋」という言葉があります。どんな言葉が思  
い浮かびますか。「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の  
秋」…。何をすることも秋というのは、よい季節です。そんな秋を楽しめるように、子どもた  
ちのちょっとした興味関心や得意なことを大切にしていきたいと思ひます。

先日、1年生の子が、バッタを捕まえて得意気に見せてくれました。「これはね、ショウリ  
ョウバッタ。こっちの大きいのは、トノサマバッタだよ。足が6本、羽はね…」この子にとっ  
て、今、図鑑やインターネットで、バッタの種類や名前を調べることは、とても楽しい時間  
になっているに違いありません。知りたいことを放っておかないで、すぐに自分で調べる。  
そして、人に説明することで、確かな知識として獲得していく。こういう姿が、学びの基本  
の姿だと思います。私は、「また、虫のこと、詳しく教えてね！」と次回に期待をしました。

読書が大好きな子もいます。「この本は、〇〇っていう人が出  
てきてね、～をする話だよ。～のところが面白いの。」と熱心に教  
えてくれました。文章から、本の中の世界を頭でイメージする力、  
登場人物の心情を読み取っていく力を身に付けているなあと感  
心しました。どんどん「読書の秋」を楽しんで、読解力や知識、人  
の気持ちを想像できる心を豊かにしてほしいと思ひます。



図書室には本がいっぱい

運動をすることが大好きな子もいます。ある子は、「僕はね、走るのが速いんだよ。サッ  
カーも得意だよ。」と話してくれました。こういう子を見るとホッとします。自分の得意なこ  
とを知っていて、もっと上手になろうと頑張れるパワーをもっているからです。友達と元氣  
に遊んでいる姿が輝いて見えます。「スポーツの秋」を楽しんで、元氣な体と心を育てて  
欲しいと思ひます。

私たち大人は、子どもたち一人一人の興味関心、得意なことを拾い上げることが大切  
だと思います。それは、一緒に遊んだり、じっくりお話を聞いたりする中から見つけること  
ができます。好きなことや得意なことを話す子どもたちの目は輝いています。普段、つい  
つ、子どもたちの苦手なこと、できないことに目が行ってしまう人も多いと思ひますが、  
今年の秋は、子どもたちの興味関心や得意なことに共感し、そのよさに気付かせたり、よ  
り高い目標に向けて頑張らせたりする「実りの秋」にしませんか。また、私たち大人も、「〇  
〇の秋」を子どもたちと一緒に楽しむことが大切かもしれません。「食欲の秋」を楽しみながら、家族団らんの温かい時間を  
過ごしたり、家族の自慢料理をつくったりするのも楽しいかも  
しれません。皆さんは、どんな秋を楽しみますか。

